

答え

- この本では、文章の中の「ことば」を正解としていきます。似た言い方の「ことば」は正解として構いません。
 - ポイントは、考え方や注意点を立てます。答え合わせをするときに、「いっしょに読みまじゅう」。
 - 「く」や「※」は、ほかの答え方です。
 - 「()」は、答えにあってもよいものです。
- 【例】の答えでは、似た内容が書けていれば正解です。

1 物語の読みとり (1)
場面の設定 ① 1・2 ページ

- 1 (1) あきら
- 2 (1) みずき
- 3 (1) わたし (2) わたし

ポイント

(2)最後の文には、「だれが」にあたる主語がないね。主語が省かれているときには、前の文の主語(主体)をさがして考えてみよう。

2 物語の読みとり (1)
場面の設定 ② 3・4 ページ

- 4 (1) さやか
- 5 (1) (妹の) まき (2) わたる
- 6 (1) 男の子たち (2) ゆき
- 1 (1) 子ねこ
- 2 (1) 救急車
- 3 (1) 朝日 (2) すずめ
- 4 (1) チャイム (2) ふうとう
- 5 (1) 水 (2) 小魚
- 6 (1) 鳴き声 (2) (小さな) 明かり

3 物語の読みとり (1)
場面の設定 ③ 5・6 ページ

- 1 (1) 昨日
- 2 (1) 休みの日
- 3 (1) 夏休み
- 4 (1) 買いた物の帰り
- 5 (1) 水族館
- 6 (1) グラウンド (2) 保健室
- 7 (1) のき先 (2) わたしの家

4 物語の読みとり (1)
場面の設定 ④ 7・8 ページ

- 1 (1) グローブ
 - 2 (1) マミちゃん (2) ぶらんこ
 - 3 (1) 魚つり (2) さお
 - 4 (1) 赤いくつをはいた
 - 5 (1) 色とりどりの (2) 青い小さな
 - 6 (1) 手のひらにおさまるくらいのも ※ 「手のひらにおさまる」でもよい。
- (2) 茶色いふわふわの

5 物語の読みとり (1)
場面の設定 ⑤ 9・10 ページ

- 1 (1) きれいに
- 2 (1) 急に (2) ぼつんと (遠くの方に)
- 3 (1) 雲一つなく (2) (庭の) あちこちに
- 4 (1) 鳴きました ※ 「鳴いた」でもよい。
- 5 (1) すりむいた (2) (すぐに) 消毒した
- 6 (1) ①はめてみた ※ 「はめた」でもよい。
(2) (そのグローブを) 置いた

6 物語の読みとり (1)
場面の設定 ⑥ 11・12 ページ

- 1 (1) 台風が過ぎた朝 (2) えみ
- 3 ビニールのふくろや紙くず
- 4 (何本も) 折れていた
- 5 お母さんが大切に育てていた
- 6 ① (庭のあちこちに) 散らばって
② 庭木の枝
- 2 (1) 女の子
(2) 二丁目の停留所を過ぎた
※ 「停留所を過ぎた」でもよい。
- 3 苦しそうに (4) みかの方を向いた
- 5 ① みか ② 返事

7 確認ドリル(1)

13・14
ページ

- 1 (1) 勇太

ポイント

この文章の登場人物は、春花、勇太、陸、おばさんだよ。①〰は、直前の文から勇太の発言だとわかるね。

- (2) 春花

ポイント

勇太は名前のことについて春花にたずねているので、子馬の名前を考えていたのは春花だとわかるね。

- (3) ①もられる

- ②行った先でつけられる

- (4) 明るい声

- (5) ウ

- (6) ①こまったような

- ②じっと見ていた

- (7) 昼休み

- (8) 紙で折った小さな馬。

- (9) なまえつけてよ。

- (10) イ

ポイント

子馬の名前をつけられなかった春花の気持ち思いやって、勇太は紙で折った小さな馬を春花にわたしたんだね。

8 説明文の読みとり(1)

15・16
ページ

- 1 (1) 夜に光る

ポイント

一文目「フクロウの目が夜になると光るのは、なぜだろう。」と書かれているね。

- 2 (1) ①いつ (2) できた

- 3 (1) ①花粉 (2) 実や種

- 4 (1) ①から (2) 役目

9 説明文の読みとり(1)

17・18
ページ

- 1 (1) あいさつの仕方

※ 「あいさつ」でもよい。

- 2 (1) ①温度の変化〈温度〉

- ②とじたり開いたり

- 3 (1) 鏡のように

ポイント

フクロウの目が「鏡」ではなく「鏡のよう」になっているところに注意しよう。

- 4 (1) ①一九〇四 (2) レストラン

- (2) いそがしさ

10 説明文の読みとり(1)

19・20
ページ

- 1 (1) ①二十度 (2) 十五度

- 2 (1) ①入れて (2) 守っている

- (2) ①ねばねばした液 (2) かんそう

※ ①「液」でもよい。

- 3 (1) 虫など

- (2) ①さいた (2) かれ落ちて

- (3) ①おしべ〈お花〉 (2) めしべ

- (4) ビニールのふくろをかぶせた

11 説明文の読みとり(1)

21・22
ページ

- 1 (1) ①おじぎ (2) 両手を合わせる

- ③あく手 (4) 鼻と鼻

- (2) ①親しみの気持ち (2) 心と心

- 2 (1) 消印

ポイント

最初の段落で、ゆう便物の消印について書かれているね。

- (2) 手紙やはがきの切手

※ 「切手」でもよい。

- (3) ①ゆう便局の名前

- ②年月日と時刻

- (4) 再度使われる

12 説明文の読みとり(1) 話題と内容⑤

23・24
ページ

1 (1) 水力発電

※ 「水の力を使って電気を起こすこと」
などでもよい。

(2) ①ダム ②管 ③水車 ④発電機

(3) 送電線を使って各地に送られ

※ 「送電線を使って」でもよい。

2 (1) 事故や事件〈事件や事故〉

(2) 指令センター

(3) ①警察署や交番〈交番や警察署〉

② パトカー

(4) ただち〈すぐ〉

13 確認ドリル(2)

25・26
ページ

1 (1) ①事実と結びついて

② 同じように

ポイント

最初の段落に、この文章の話題が書かれているよ。

(2) ア・エ

ポイント

二つ目の段落をよく読もう。「最終ランナーのところまで、一組が二組をぬいて、勝った」とあるよ。

(3) ①夏目 ②春村

(4) むずかしい

(5) あざやかにぬいた

(6) ほとんど勝っていたリレーだったのに、
本当においしいところで負けた

(7) 例 事実は同じでも、表現する人の立場
や感じ方によって、言葉がちがっているよ。

ポイント

最後の段落で筆者の考えを述べているよ。

14 物語の読みとり(2) 場面の様子①

27・28
ページ

1 (1) ガタガタ

※ 「はげしくガタガタ」でもよい。

(2) ガチャン

2 (1) ころりと

(2) ①ふわふわと〈ふわふわ〉

② ふしぎな

3 (1) ドスン

(2) ①とぼとぼと〈とぼとぼ〉

② もどった

4 (1) 声をあげた

(2) しゃがみこんでしまった

※ 「しゃがみこんだ」でもよい。

15 物語の読みとり(2) 場面の様子②

29・30
ページ

1 (1) 港の景色

※ 「港」でもよい。

(2) 汽笛

2 (1) もくもくと

(2) ①空気 ② たちこめます

※ ② 「たちこめる」でもよい。

3 (1) 体を包みこんだ

(2) ①水てき ② かがやいて

(3) ①水しよう玉 ② とう明

(4) ①静か ② 美しい

16 物語の読みとり(2) 場面の様子③

31・32
ページ

1 (1) 物置の戸

(2) (庭の) いちじくの木

(2) ①庭の方 ② ガチャン

※ ① 「庭」でもよい。

(3) ①ぼつぼつ ②はげしく

2 (1) 波打つように

(2) ①青草のにおい ② 風をきって

(3) 魚・グライダー

※ 順序はちがっててもよい。

(4) ①気持ちよく ② 楽しい

17

物語の読みとり(2)
場面と様子を表す表現 ①33・34
ページ

- ① ドスン ② とぼとぼ
- ① 一生けん命(へけん命)
- ③ 喜んでいる

ポイント

「えがおになって、ぴよんとびはね」るのは、どんなときかを考えればいいね。

- ① がっくり

- ② むねをなでおろした
- ③ ①がっかり ②ほっと

18

物語の読みとり(2)
場面と様子を表す表現 ②35・36
ページ

- ① ①草原 ②波打つように
- ② ①もぐった ②緑のグライダー ③両手を広げて

- ② ①(本当に) 大空 ②草原(緑の海)

- ② 長い間
- ③ 海の底に向かって(海の底に)
- ④ ①少年 ②大物の魚

19

確認ドリル(3)

37・38
ページ

- ① ① 全くのちんもく。

※「ちんもく」でもよい。

- ② ①声 ②声を出さなかった
- ③ ①しんと静まり返りました。
- ④ ①しんと静まり返っていた。
- ⑤ ①世界でいちばんやかましい音。
- ⑥ ①こそこそ

ポイント

□の1つ前の文を読もう。人々は、王子様に悪いことをしたと思ったので、頭をたれて「こそこそ」と帰ろうとしたよ。

- ⑥ ①手 ②はしゃいで

ポイント

王子様が喜んで(喜ぶ)いる様子が読みとれるね。

- ⑦ 小鳥の歌

- ・木の葉が風にそよぐ音
- ・小川を流れる水の音

※順序はちがってもよい。

- ⑧ ①申しわけなさ ②はずかしさ

- ③ 静けさ ④ 落ち着き

- ⑤ 気に入った

※⑤同じ内容が書いていけば正答。

20

説明文の読みとり(2)
文をつなぐことば ①39・40
ページ

- ① ①ぬれた ②食べられない

ポイント

(1)「だから」に続くことばだから、前の文の内容から結果が続く言葉を選べばいいね。

- ② ①だから ②それで ③そこで
- ③ ①ぬれなかった ②食べられた
- ④ ①でも ②しかし ③ところが

21

説明文の読みとり(2)
文をつなぐことば ②41・42
ページ

- ① ①乗った ②書いた

- ② ①また ②そして ③しかも

- ③ ①しようか ②しますか

- ④ ①それとも ②あるいは ③それとも

22

説明文の読みとり(2)
文をつなぐことば ③43・44
ページ

- ① ①しよう ②読もう

- ② ①では ②さて ③ところで

- ③ ①夏休みだ ②ふりそうだから

- ④ ①つまり ②なぜなら ③つまり

23

説明文の読みとり(2)
文をつなぐことば ④45・46
ページ

- ① ①からに体を入れて

- ② ①ところが

- ③ ①ですから

- ④ ①すると ②ところで ③つまり

24

説明文の読みとり(2)
さし示すことば①

47・48
ページ

① 消しゴム

(2) チューリップ

(3) 交差点

(4) 花束

② (1) 一〇番

(2) 指令センター

③ (1) サバンナ

(2) 草食動物

25

説明文の読みとり(2)
さし示すことば②

49・50
ページ

① (1) 食中毒

(2) ① さわった感じ、熱さ、冷たさ、いたさなどを感ずること

② 皮ふ感覚

(2) 皮ふ感覚

③ (1) 地面に落ちた木の葉

(2) 細かいふん

(3) ミミズがふんをすることで肥えた土や、ミミズが通ることで耕された土

26

説明文の読みとり(2)
さし示すことば③

51・52
ページ

① (1) 物が地面に向かって落ちていくこと

(2) 物を引っぱる地球の力

(2) (1) 夜空には、赤い星、青白い星、黄色っぽい星など、さまざまな色の星ががやいていること

③ (1) 地形を変える三つのはたらき

(2) (2) 川岸や川底の岩石をけずるしん食作用

(3) けずられた小石やどろを運ぶ運ばん作用

(4) 運んだ小石やどろを積もらせていくたい積作用

27

確認ドリル(4)

53・54
ページ

① (1) いつの時代でも同じではないのか

(2) 五十年

(3) ① 寿命 ② 釘

(4) ウ

(5) ① 古代 ② 大きさ

(6) イ

(7) イ

ポイント

②の後では、②の前の内容をまとめ「鉄の純度が低い」と述べているよ。

(8) ① 純度 ② 現代

ポイント

「これに対して」とあるので、「これ」には古代の鉄と比べる対象が入るよ。

(9) ① 砂鉄 ② たたら ③ 燃やし

④ たたき直して

28

物語の読みとり(3)
人物の気持ち①

55・56
ページ

① (1) うれしく

② (1) 悲しく

③ (1) くやしい

④ (1) 楽しい

⑤ (1) うれしい

ポイント

終わりのほうに「たつやはうれしくなっ
て、〜。」とあるよ。

⑥ (1) さびしい

ポイント

「ゆみはさびしくなったので、音楽を〜。」
という文に注目してね。

29

物語の読みとり(3)
人物の気持ち ②

57・58
ページ

1 (1)うきうき

2 (1)はげしくふみつけた

3 (1)真っ赤になった(真っ赤な)

4 (1)①(うわあと) 大声

② ばちばち

ポイント

だいすけは、とつぜんクラッカーを鳴ら
されておどろいたんだね。

5 (1)①どきどき

② (キヤーと) 悲鳴

③ うつむいて

30

物語の読みとり(3)
人物の気持ち ③

59・60
ページ

1 (1)宿題のプリント(宿題)

2 (1)①お母さん ②帰ってこない

ポイント

妹の「お母さん、まだ、帰ってこない
……。」に注目しよう。

3 (1)①かた ②とぼとぼ

(2)本をなくした

4 (1)ぜんぜん知らない(知らない)

※「ちんぷんかんぷんな」でもよい。

ポイント

なおきの「わあ、ぜんぜん知らない問題
だ。」に注目しよう。

(2)頭をかかえた

31

物語の読みとり(3)
気持ちの変化 ①

61・62
ページ

1 (1)張りきっている

(2)喜ぶ

(3)なみだを流した

2 (1)はずかしくなった(はずかしい)

(2)なつかしくなった(なつかしい)

(3)楽しくなった

ポイント

初めははずかしくて、仕方なく乗ったま
りなだったけれど、乗っているうちに、
小さかったころの自分を思い出し、楽し
くなったよ。

32

物語の読みとり(3)
気持ちの変化 ②

63・64
ページ

1 (1)もう、ミキはいつもずるいんだから。

※「ミキはずるい」という部分を書いて
あればよい。

(2)口をとがらせた

(3) (急に、) ぱあっと明るくなった

2 (1) (とたんに、リズムがくずれて、) 息が
苦しくなった

(2)①「えり、がんばれ。」 ②ゆか

※①「がんばれ。」であったり、「」(か
ぎ)がなかったりしてもよい。

(3)なみだがこみ上げてきた

33

物語の読みとり(3)
人ごとと主題

65・66
ページ

1 (1)①(キャッチボールをする) 約束

②公園

(2)①(どちらかというと) 自分勝手

②(少し) 気弱

(3)いい考え

2 (1)①はら ②赤黒い血

※②「血」でもよい。

(2)①やさしく(急いで)

②(細く切って) 包帯

(3)信じている

34

確認ドリル(5)

67・68
ページ

1 (1)①何も変わらない(変わらない)

②新しい

(2)①ひとりぼっち ②なみだ

ポイント

「……ひとりぼっちになったみたいだ。な
みだがこみあげてく。」の二文に注目しよう。

- (3) イ
- (4) クラブ
- (5) ① 買ひ物 ② ふくろ
- (6) ① 知らない子
- ※ 「名前を知らない子」などでもよい。
- ② シャベって〈話して〉
- (7) 例 さつき話していた子の名前。

ポイント

亮太は「名前は知らないけど、そのうちわかる。」と話しているよ。今は知らない子でも、同じクラブだからそのうち名前などがわかるだろうと思っっているんだね。

(8) 期待

35 説明文の読みとり(3)
段落と要点 ①

ページ 69・70

- 1 (1) ア熱さ ① いたさ

※ ア①は反対でもよい。

- (2) いたさや熱さへ熱さやいたさへ
- (3) アやけど ① かぜ
- 2 (1) 地形
- (2) ② しん食 ③ 運ぱん ④ たい積
- (3) ア…④ ①…②

36 説明文の読みとり(3)
段落と要点 ②

ページ 71・72

- 1 (1) ちがい

ポイント

さまざまな色の星がある理由は、③の段落に書かれているよ。

- (2) ア青白く ① 赤っぱく
- (3) ア年をとる ① 下がって
- (1) ア栄養分 ① 細かいふん
- ※ ① 「ふん」でもよい。
- (2) アすき間 ① 水や空気
- (3) 木の葉

37 説明文の読みとり(3)
段落と要点 ③

ページ 73・74

- 1 (1) ア形 ① 元にもどろう

| | | | |
|---|--------|--------|-----------------------|
| | (2) | ばねの名前 | 使われるものや部分 |
| ⑤ | うずまきばね | つるまきばね | ベッドやいすのクッション(など) |
| ④ | 板ばね | | 自動車や電車などの車体を支える部分(など) |
| ③ | | | ねじを回して動くおもちゃ(など) |

ポイント

③～⑤の段落は、それぞれのばねの形状と使われるものについて書かれているよ。

- 2 (1) ② アじょう発 ① とげ

- ③ アたくわえられる ① 太く
- ④ アすい上げられる ① 四方

ポイント

②は「葉」、③は「くき」、④は「根」の持ちょうについてだね。

- (2) 雨がふらないさばく

38 説明文の読みとり(3)
構成と要点 ①

ページ 75・76

- 1 (1) ア…③ ①…② ウ…④

- (2) ア話題 ① 説明

- 2 (1) ア…③ ①…②

- (2) ア生長 ① 都合

ポイント

「このよつな土」とは、②③の段落に書かれている土のことだよ。

- (3) ①
- (4) アそうじ ① 養分

39 説明文の読みとり(3)
構成と要点 ②

ページ 77・78

- 1 (1) ア…③ ①…⑤
- (2) ア青色へ青く ① 百メートル以上
- (3) ①・②

- (1) ア…③ ①…②
- (2) ③・④ ※ 順序はちがってもよい。
- (3) ア(なるべく)ばいきん ① 入らない

① ②・③

※順序はちがってもよい。

(2)ア意味 ①味わいの深い

ポイント

⑥の段落に注目しよう。「①の②の③の④の⑤の内容をそれぞれ考えればよいね。」

② (1)④

ポイント

段落の初めの「①」文をつなぐことで「②」や「③」を示す「④」の注目を示している。

(2)ア真つ暗 ①交信

ポイント

①と④の段落に話題が示されているね。これをまとめることで、この文章の要旨になるよ。

(1)①洋紙 ②和紙 ③ちがいがい

※①と②の順序はちがってもよい。

(2)ア…② ①…④

(3)①できます ②できる

②つるつる

段落…③

(4)①できません ②できない

②空気や光 ③光や空気

段落…⑤

(5)和紙

ポイント

⑤の段落に書かれているね。

(6)①原料 ②製法 ③仕上がり

※①、②、③の順序はちがってもよい。

(7) (前から) ①・②・⑤・⑥

ポイント

問いかげに対する説明をしている②③⑤の段落のうち、②③の段落は洋紙について、④⑤の段落は和紙について説明しているね。

① (1)指をぴったりつけてそおつと大切に

(2)二つの手の中にそおつと大切に

(3)①すくう ②つつむ

② (1)イ

(2)・はつきりとある

・どこまでもある

※順序はちがってもよい。

(3)②

(4)水平線

ポイント

どこまでもはつきりとある「①」という存在は、水平線のことだね。

① (1)①続き ② (日々)に新しい

(2)つめた

(3)ウ

ポイント

③の部分にある「雨」「風」「曇り」「嵐」は、すべて天気のことだね。

(4)はじまる

② (1)ア

(2)イ

ポイント

「船出」という言葉には、「新しい生活を始めること」「の意味もあるね。」

(3)ウ

(4)ぼくらのもの

(5)わかっている

① こまったことや、こわいこと。

(2) ア○ イ○ ウ△ エ○

(3) 不安に思う

(4) 例 ぼくの手をにぎり、「だいじょうぶ、だいじょうぶ。」とおまじないのようにつぶやいた。

(5) ① 例 無理してみんなと仲良くしなくてもいい。

(2) 例 たいいていの病気やけがは、いつか治る。

(6) イ

ポイント

「この世の中、そんなに悪いことばかりじゃない」と、「ぼく」を安心させるために声をかけていたんだね。

① ① 三角べら ② 木型

③ あずき ④ ぐず粉

※ ①と②、③と④は、順序がちがって
もよい。

(2) 昔ながらの手作業。

(3) 職人

(4) ① 季節 ② 年中行事

(5) ウ

ポイント

筆者は、和菓子作りに関わる職人だけではなく、和菓子を味わい楽しむ多くの人に支えられることによって現在に受けつがれている、と述べているね。

(6) 例 伝統的な和の文化を再発見させてくれるようなみりよく。

(7) ① 歴史や文化〈文化や歴史〉

② 考える ③ 日本の文化〈和の文化〉

① 残雪〈へがんの頭領〉

(2) 残雪をねらった

(3) 仲間のすがた

(4) はやぶさ

(5) 飛び散った

(6) 人間のすがた〈大造じいさん〉

(7) 残雪は、むねのあたりをくれないにそめて、ぐったりとしていた。

(8) 例 いかにも頭領らしい、堂々たる態度

ポイント

① 〰〰〰のすぐ後の文に注目しよう。

(9) 例 (大造じいさんが手をのばしても) 残雪が、もうじたばたさわがなかった様子。

(10) 例 ただの鳥に対しているような気がしなかった。

ポイント

最後の一文から考えよう。

① まんがに特有の、共通した表現方法。

(2) ストーリー

(3) ① コマ ② 四角いわく

(4) ① 物語のテンポが速まる(効果)。

② 場面の印象が強まる(効果)。

ポイント

④の段落をよく読もう。コマは物語の展開に重要な役わりを果たし、その例として①や②の効果を説明しているね。

(5) 時間や心の動き

(6) ① 人物とフキダシ〈フキダシと人物〉

② 位置

(7) 人物の心の動きや動作、音など。

(8) ア…③ ①…⑤

48

しんだんテスト(5)

ページ
95・96

- ① ①ぎよつ ②見合わせました(見合わせた)
②ウ

(3) ①例 西洋料理を、来た人に食べさせる店。
②例 来た人を、西洋料理にして食べてやる店。

(4) ①例 食べられてしまうということなんだ
※「食べられる」という内容が書いてい
れば正答。

(5) ①がたがたがたがたふるえだして、もう
ものが言えませんでした。

(6) 出られない(へにげられない)

(7) ①戸 ②おなか

ポイント

戸を開けて中に入るといふことと、食べ
られておなかの中に入るといふ二つの意
味があるね。

49

発展テスト(1)

ページ
97・98

- ① ①ぼうだいな ②ほんの一部

(2) さまざまな出来事

(3) ①情報 ②分かりやすく

ポイント

図の役わりや説明については、②の段落
に書かれているよ。

(4) ①された ②されなかった

(5) ①黒い部分 ②白い部分

⑥②

(7) ①グループの一つ一つであり、一人一
人のすがた。

②グラウンドいっばいに広がっている
全体。

(8) ①例 テレビが伝える映像の外にも情報が
あることをわすれないようにしながら、
テレビと付き合う必要がある。

※④の段落をもとにした内容であれば

正答。

50

発展テスト(2)

ページ
99・100

- ① ①天気予報 ②的中

(2) ①例 かなりむずかしい。

(3) 突発的

(4) ウ (5) ④

ポイント

「二〇〇六年からの十年間」とあるので、
二〇〇六年から二〇一五年までの部分を
さがそう。

(6) ①積乱雲 ②急速に発達する

(7) ①例 四方を海に囲まれていて、さまざ
まな風がふくから。

・例 山が多く、地形の変化に富んでい
るから。

(8) ②・③

51

発展テスト(3)

ページ
101・102

- ① ①(とても) ゆっくり ②大きく

(2) ①地しん(のゆれ) ②たおれて

③②

(4) ①心柱 ②シャフト ③とう体

ポイント

③の段落をよく読んで、それぞれの部分
の名前を書こう。

(5) ①つるされ(ていて) ②つながって

(6) ①例 反対 ※「逆」などでもよい。

ポイント

図の矢印の方向をよく見よう。建物とお
もりのゆれが反対方向になっていること
がわかるね。

(7) すきま

(8) ア…○ イ…× ウ…○

ポイント

法隆寺や日光東照宮などの五重のとうに
は、地しんてたおれた記録はないと書か
れているね。